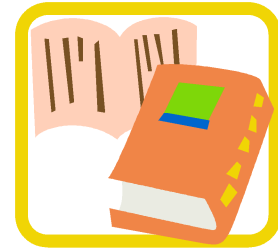


# 本の紹介カードをつくろう

## 本の紹介カードをつくろう

本の紹介カードをつくって家の冷蔵庫のドアにはったり、友達と交換したりして、身近なみんなに自分が感じた本のおもしろさを伝えましょう。人に伝えようとして文章を書くこと自体が、自分の考えの整理になり読みを深めていきます。

また、友達や家族がすすめる本を読んでみましょう。本を読んでみたいと思うけれど、どの本を読んだらいいのかわからないと思うことは多いでしょう。友達や家族がすすめてくれる本ならきっと手に取りやすいはずですよ。



## 本の紹介カードをつくる手順

### 1 紹介する本を決めよう

最近読んだ本でなくてもかまいません。思い起こしてみて、自分の印象が強かった本から始めましょう。最初は物語のように筋がある方が書きやすいでしょう。もちろん、伝記でも、図鑑でも、自分の興味のある本ならどれでもかまいません。

### 2 タイトルを考えよう

ただ本の題名をそのまま「〇〇の紹介」と書いても、カードの読み手はあまり興味を持ってくれないでしょう。自分が読んだときのことを思い出して、一番わくわくした場面を短い言葉でまとめるといいかもしれません。

### 3 紹介する文を書こう

あまり長い言葉だと読んでもらえません。150字くらいにまとめるといいでしょう。あらすじだけを書くより、盛り上がる部分の紹介を中心に書きましょう。結末は直接書かずに期待させる文章がよいでしょう。

### 4 全体のバランスを考えて組み合わせよう

あらすじや登場人物の紹介のほか、読んでもらうことを考えて組み合わせを考えましょう。

盛り上がる場面のイラストを入れると、興味をもってもらいやすくなります。

### 5 見やすいカードに仕上げよう

特別に伝えたいところは色ペンで書いたり、囲ったりしましょう。

紹介する作品にあったイラストをつけたりするとあたたかい感じになります。

# 本の紹介カードの例

